

# 子供たちを放射線から守る署名のお願い

## 「全国子供疎開・動物保護ネットワーク福島」

私たち「全国子供疎開・動物保護ネットワーク福島」は、子供たちを放射線から守りたいと思い署名活動や政府や県に対しての抗議の活動等をしております。

- 文部科学省が10年かけておこなった放射線影響の調査レポートでは、蓄積10mSvから、因果関係は証明できないが、余計ながんや白血病、先天性障害の発生が見られるとしています。
- 福島県のアドバイザーの山下教授は100mSvまで健康に影響はないと発言していますが、過去の講演では、難解な言葉を使っていますが、山下教授本人が、「10mSvを超えたあたりから健康リスクが見られ、若い子供たちはより顕著になる。」と発言しています。
- 3月25日の長崎新聞には山下教授のインタビュー記事が掲載されていて、そこには「大変恐ろしい事が起きている、妊婦や子供を中心に早く逃がさないといけない」と書かれています。
- 今年 4/22 午前0時に原発20Km圏内が警戒区域に指定され、立入り禁止となりました。20キロ圏内の動物たちは、現在生きるか死ぬかの世界で生きています。
- 「動物愛護法」という憲法がありながら政府により、殺戮（安楽死等の処置）がされています。
- 法律では「非常災害に対する必要な応急措置としての行為に伴って特定動物の飼養又は保管をする場合」とあります。
- また、環境省と福島県及び現地対策本部は動物達を守る為にボランティア団体の一次立ち入り許可書をはく奪しています。
- 動物は、生き物です。命は、そう長い間待っていてはくれません。  
このままでは未来の生態系などのバランスが崩れてしまいます

国の調査結果や、県のアドバイザー、現地対策本部、各関係省の矛盾に気づき、私たちは、福島の子供たちの健康のリスクから少しでも遠ざけたいと思っています。また全国の子供たち・赤ちゃん・妊婦・20キロ圏内の動物達の保護のために力を合わせ、国や県を動かし避難しやすい環境を作り要望書・署名を内閣府に提出しますので、皆様のご協力をお願い致します。

「全国子供疎開・動物保護ネットワーク福島」は全国の子供たち・妊婦さん・障がい者・  
20キロ圏内の動物等を守りたいという団体です。

連絡先

960-8157

福島市蓬莱町 2-5-5-51 「全国子供疎開・動物保護ネットワーク福島」

事務局長 橘内 芳雅

アドレス：[yoshimasa\\_k\\_for\\_god@agate.plala.or.jp](mailto:yoshimasa_k_for_god@agate.plala.or.jp)

